

国立がん研究センター中央病院 AYA 世代にがんと診断された患者のサポーターケアに関する臨床的特性および効果等に関する研究

1. 研究の対象

2014 年 1 月 1 日から 2029 年 12 月 31 日までに国立がん研究センター中央病院において診療した AYA 世代にがんと診断された患者（15～39 才）を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

この研究では、AYA 世代にがんと診断された患者さんの診療録（カルテ）から患者さんの苦痛や困りごとおよびそれに対してどのようなケア、対処、サポートが実施されたかの情報を得て、医師、看護師、薬剤師など多職種で構成される医療チームが AYA 世代の患者さんの支援を行うときに配慮すべき点は何か、を明らかにすることを目的とします。

研究期間は 2029 年 12 月 31 日までで、約 13500 例の調査を予定しています。この研究のために追加で検査をしたり、薬剤を使用したりすることはありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、氏名、生年月日、病歴、抗がん剤治療や苦痛緩和の治療歴、副作用等の発生状況、痛みなどの苦痛症状、各種支援の実施状況 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

東京都中央区築地 5-1-1 TEL 03-3542-2511

国立がん研究センター中央病院緩和医療科 里見絵理子